

動き出す

「子ども医療費助成所得制限」完全撤廃へ

3月27日投開票で行われた西宮市長選挙並びに市議補欠選挙。補欠選挙で我が党の庄本けんじ候補は子どもの医療費無料化における所得制限撤廃や学校給食費無料化。高齢者支援では補聴器購入補助や高齢者交通助成金の復活、また、実施が3か月延期となったごみ指定袋制度の見直しなどを掲げてたたかいました。特に子ども医療費無料化の所得制限完全撤廃（現在は一部負担金あり）が現実動き出そうとしています。この問題での市長候補の公約と党議員団の取り組みを紹介し、あわせて選挙結果や3月議会の決議などを報告します。

子どもの医療費無料制度所得制限

この課題は2006年から我が党が市民の皆さんと「子ども署名」に取り組み、2010年に中学校3年までの無料化が県下に先駆けて実現。しかし、県との共同事業のため所得制限があり、約16000人の子どもが無料化の対象外でした。その後所得制限なしが小学校3年生まで拡大されましたが、今では県下の半数以上の自治体で15歳まで所得制限がなく、18歳までを対象にするところも出てきています。

市長選で石井氏は、**18歳までの医療費無料化と所得制限の撤廃を掲げました。**

※最近でも以下の様に党は議会で取り上げてきました

2015年3月議会代表質問 (2月26日 杉山)

2017年3月議会一般質問 (3月1日 上田)

2018年6月議会一般質問 (6月26日 庄本)

2018年12月議会一般質問 (12月7日 庄本)

※15歳までの所得制限撤廃とともに、委員会などでは**18歳までの無料化**を求めてきました。

市長選・市議補選の結果

市長選では石井としろう市長が再選されました。定数2の市議補欠選挙では、当選した坂本龍佑氏（自民）は政新会に、宮本けいこ氏（無所属）は市民クラブ改革に所属することになり、新たな会派構成は次のとおりとなりました。

公明党議員団	8名
政新会（自民系）	7名
会派・ぜんしん	6名
市民クラブ改革	6名
維新の会西宮市議団	4名
政嵐会（元政新会で自民系）	4名
日本共産党議員団	3名
無所属	3名

記号式投票に疑問有り!

今回の市長・市議補選から導入された候補者の名前の上に○印を入れる記号式投票制度。簡単でよかったという声がある一方、記載場所に候補者名を書いた用紙が掲示されていないために、支持する政党の候補者を確認できないなどの声も多く寄せられました。

市選挙管理委員会のホームページによりますと、記号式投票の場合は公職選挙法によって候補者名を掲示することができず、政党などを確認したい場合は投票所の外で確認することができるかと書いてあります。しかし、実際には現場でそのことが徹底されていなかったもようです。

今回、無効票が4年前の選挙と比べ、市長選では2782票から2241票に減ったものの、補欠選では8922票から12929票と大幅に増えました。通常の選挙は記名式のままとりますが一定の検証が必要です。ちなみに党議員団はこの制度導入の条例案には無所属のよつや議員とともに昨年反対をしました。



ロシアによるウクライナへの 軍事侵攻を抗議する決議を採択

ロシアのウクライナへの侵略行為にみなさんが心を痛められていると思います。3月議会では、党議員団がロシアによるウクライナへの侵略に対する非難決議を呼びかけ、これが議会運営委員会で取り上げられることになりました。3月議会最終日の3月17日に決議案は、全会一致で採択されました。

(決議全文は裏面に掲載)

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を抗議する決議

ロシアは、去る2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始し、子どもを含む民間人にも多数の死傷者が出ている。このような武力による一方的な現状変更の試みは、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、ウクライナ国民の生命及び財産、自由が奪われていることに、深い悲しみと強い怒りを覚える。また、ロシアのプーチン政権は、今回の軍事侵攻に際して核兵器使用について示唆しているが、核兵器の使用はもちろん、核兵器による威嚇もあってはならない。昭和58年（1983年）に兵庫県内で一早く「平和非核都市宣言」を掲げ、世界中に核兵器の廃絶と、平和を愛する社会をはぐくみ、築くことを訴えてきた西宮市の議会として、断じて容認することはできない。西宮市議会は、ロシアに対して、今般のウクライナへの軍事侵攻を厳しく抗議するとともに、ロシア軍の即時無条件での撤退、国際法・国連憲章の遵守を強く求める。また、政府においては、国際社会とも連携し、一日も早い平和的解決に向けた外交努力を行うよう、強く求める。以上、決議する。

令和4年3月17日 西宮市議会